

CFCCの使用実績

橋梁用ケーブル

つくでCC 飛翔橋

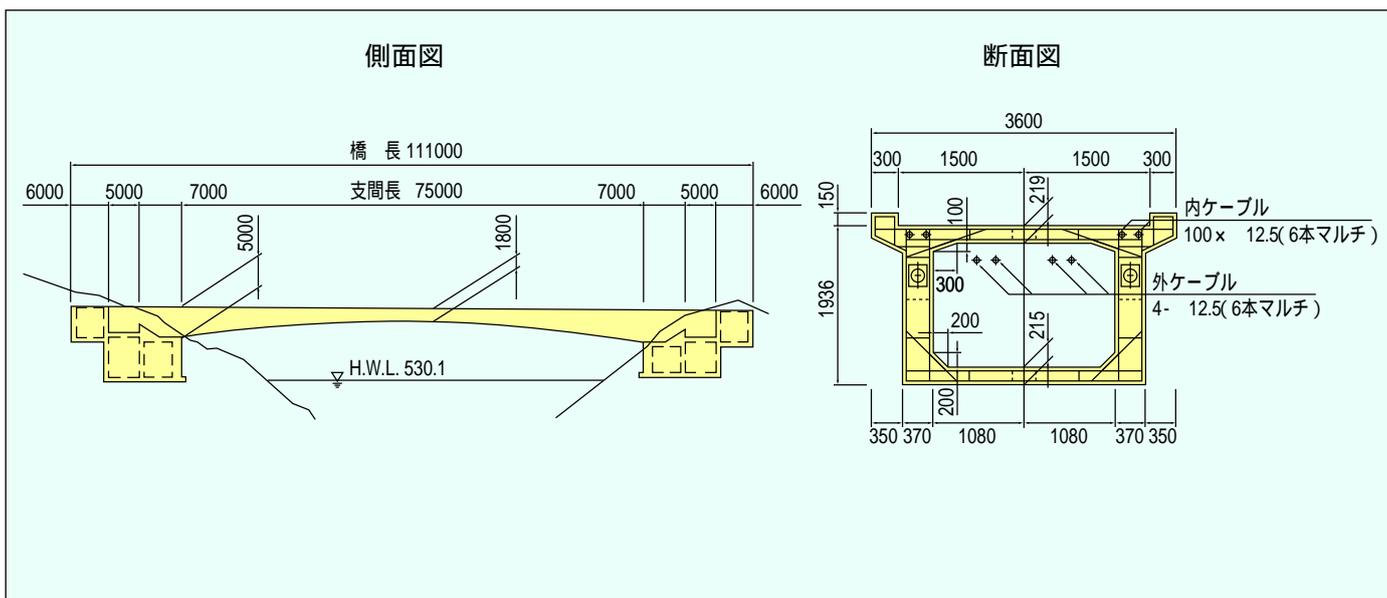
飛翔橋はCFRPを世界で初めて片持ち張出し工法へ適用したものであり、ポストテンション方式の内ケーブル(カンチレバーケーブル)と外ケーブル(スパンケーブル)の全緊張材108ケーブルにCFCCが適用されています。適用したケーブルは、直径12.5 mmのCFCCを6本束ねたマルチケーブル(6-12.5)です。

発注者	有楽観光(株)
所在地	愛知県
規模	1径間中央ヒンジPCラーメン橋 橋長 111.0 m 幅員 3.6 m
使用材料	CFCC 1×7 12.5
補強材用途	カンチレバー(内)ケーブル(ポストテンション緊張材) スパン(外)ケーブル(ポストテンション緊張材)
竣工	1993年5月



PC桁の張出し状況

構造図



< ACCカタログより >

